

自己点検・評価報告書

ESL ラボ日本語学院名古屋

実施日：令和4年（2022）4月1日

1. 教育の理念・目標

- 1.1 学校の理念、目的・目標及び育成人材像が明確になっているか。
- 1.2 理念、目的は職員及び学生に周知、徹底されているか。

教育理念：人と人同士がお互いを尊重し合える関係を築き世界平和に貢献すること
教育目標：意思伝達の媒介となる言語を共有することにより、他の文化や価値観を尊重できる寛容性と、変化の激しい国際社会においても自らの信念を貫ける国際感覚を持った人材の育成を目標とする。

学校理念はホームページに公開し、教職員へはミーティング実施の際に、学生へは、入学、進級等のオリエンテーションの際に確認の機会を設け、内外への周知できるようにしている。

2. 学校運営

- 2.1 学校の運営大成が日本語教育機関の告示基準を満たしているか。
- 2.2 学校の理念や目的に基づいた学校の運営方針や事業計画が定められているか。
- 2.3 組織運営や人事、財務管理に関する規定が定められているか。
- 2.4 学校運営を合理的に行うための会議体が規定されているか。
- 2.5 効率的な業務運営を行うために、情報システム化が図られているか。
- 2.6 学校運営に必要な人材確保と育成が行われているか。また、確保した人材の処遇の向上が図られているか。
- 2.7 危機管理体制が整備されているか。

日本語教育機関の告示基準及び、同解釈指針に基づいた学校運営を行い、告示基準を満たした教職員、設備等が整っている。組織運営や規定は、半期ごとに当校幹部の運営会議を行い、経営目標・戦略を確認。職員へも明示されている。

効率的な業務が行えるよう、クラウドシステムを利用して情報を管理。業務に合わせた採用活動や指導育成、面談などを実施し、処遇の向上を図っている。

昨期においては新型コロナウイルス感染予防として、学習環境保全方針を定める等、危機管理体制の整備に加えた。

3. 教育体系

- 3.1 教育理念に沿った教育課程が体系化されているか。
- 3.2 成績評価や進級、修了の判定基準を明確にし、適切に運営されているか。
- 3.3 カリキュラムは体系的に編成されているか。また、カリキュラムの見直し、変更を行っているか。

教育理念に沿った教育課程を策定し、学生の様子、熟達度、レベルに基づいてカリキュラムを編成。その都度、カリキュラムの見直しを行っている。クラス編成は、入学時のプレースメントテスト結果、各種テスト結果、進路希望など総合的に判断し、個々の能力に応じたクラスを決定、担任制により運営している。

進級・修了の判定基準は、学生が理解できるような条件を周知し、年4回の定期テスト及び、出欠・小テストの結果により成績評価を行い、結果を掲示している。

4. 教育指導・成果

- 4.1 カリキュラム内容及び学生の能力レベルに合った教材を使用して授業を行っているか。
- 4.2 学生の能力に応じた授業・指導を行っているか。
- 4.3 学生の理解度を把握し、適切な指導を行っているか。
- 4.4 教員の指導力向上のための取り組みが行われているか。
- 4.5 学生の日本語資格取得（EJU, JLPT 等）のための受験支援を行い、レベルにあった資格試験の受験を促しているか。
- 4.6 日本語取得の不足している学生に対し適切な対応策をとっているか。
- 4.7 学生の進路相談を十分に行い、適切な進路先が決定できるように支援しているか。
- 4.8 学生の卒業後の進路を適切に把握しているか。
- 4.9 大学・大学院及び専門学校に進学先情報また就職先情報を積極的に収集しているか。

カリキュラムは学生のレベルに応じて作成。各種テスト、定期試験、授業の様子等により熟達度を把握し、それらを踏まえたクラスを編成。学習者の能力に応じた指導を行っている。教員へは定期的なミーティングを実施。教授法、指導方法等の共有をし、指導力向上へ向けて取り組んでいる。

学生へ日本語能力試験（JLPT）日本留学試験（EJU）等の受験を推奨、対策授業を実施し、受験へ向けた支援を行っている。学習者のレベルは各クラスの担任が把握し、不足している日本語能力への対応を行っている。進路指導は、担任と進路指導者と連携し、学生の受験状況及び出席・成績は事務所およびドライブ上で管理し、全教員が情報共有。進路決定、卒業後の進路が決まるまで綿密なやりとりを行っている。また、進学先の学校とも随時連絡を取り合っている。進学先情報、就職先の情報は、進学先の学校や企業への訪問、または先方の来校により、情報を共有している。

5. 学生支援

- 5.1 学生に対する学習相談や進路相談の支援体制が整備されているか。
- 5.2 出席率が低下した学生に対し適切な対応策をとっているか。
- 5.3 学生の健康管理や安全対策及び生活指導の支援体制が整備されているか。
- 5.4 学生の経済面に対する支援体制は整備されているか。
- 5.5 学生の居住環境及び生活環境の支援体制は整備されているか。
- 5.6 保護者と適切に連携しているか。

コロナ禍でもあり、例年以上に学生との密なやり取りを実施。生活指導、進路指導等の個人面談を随時実施した。進路相談は担任や進路指導者が担当し、校外で実施される進路説明会への全員参加を指導、また専門学校・大学での授業体験参加の推奨をしている。出席率 90% 以下の学生には指導を行い、健康管理や生活指導については、毎日の検温・事務所で挨拶を義務付け確認している。災害時の避難場所の確認は年 1 度、防災指導日を設けて確認している。

学生の経済面については公的な支援を含め、学生の状況を踏まえ、個別に相談対応できるように配慮した。居住環境は学生寮を完備し、生活指導等も徹底して行っている。

保護者との連携においては、送り出し機関の協力を経て、また直接電話をするなど対応可能な体制をとっている。

6. 教育環境

- 6.1 学校の施設、設備は十分かつ安全に整備されているか。
- 6.2 教育資材は適切に整備されているか。
- 6.3 学習効率を高めるための環境は整備されているか。

学校の施設・設備は整っており、安全に使用できるよう管理している。授業後は毎日清掃を行い、学生の忘れ物、落とし物などの管理を実施。教育資材として、通常の教材等に加え、web 環境や、PowerPoint 等を使用した授業が行えるように整備している。また、1 人 1 台パソコンを使用する授業を設け、学習の効率、進学後の学習に困らないよう配慮している。

7. 入学者の募集

- 7.1 学生募集活動は、適切に行われているか。
- 7.2 入学許可選考基準が明確に定められているか。
- 7.3 入学者に対するオリエンテーションを行っているか。
- 7.4 学校情報は授業料も含め、学生の母国語で掲載した資料で説明しているか。
- 7.5 入学辞退者、中途退学者に関する手続き及び授業料等の返納について明確に規定されているか。

学生募集は年 2 回実施（4 月 10 月）。昨年度は新型コロナウイルス感染症により Skype にて入学希望者の、面接と日本語レベルチェックを行い、学習意欲や経費支弁状況などを確認したうえで受け入れを決定した。選考基準は面接・試験・母国の成績や出席状況を確認し、策定した基準に基づいて入学を判断している。入学時にはオリエンテーションを実施し、法律、学生生活や校内ルールなどの説明を母国語で訳した資料を配布し、説明している。

学校情報、授業料、入学辞退、中退に関する手続き及び授業料等の返納について規定した内容を募集要項に記載し、明示している。

8. 財務

8.1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。

8.2 予算、収支計画は適切に立案され、実績との差異分析及びその対応は適時に実施されているか。

8.3 財務に係る会計監査は適切に行われているか。

予算、収支計画ともに短中期的な計画を作成しており、月次の点検を行うことで有効性を担保している。また、税理士と常に連携を取れる体制を確保しており、財務状況の公開を求められた場合、公開する体制が整っている。

9. 法令遵守

9.1 入出国管理及び難民認定法をはじめ、各種関係法令を遵守し適切な運営をしているか。

9.2 個人情報保護の取り組みは、適切に行われているか。

9.3 学生に対し、我が国の法令を遵守させる指導を行っているか。

9.4 自己評価を実施し、問題点の改善に努めているか。

9.5 自己評価の結果を公開しているか。

出入国管理及び難民認定法および各種関係法令を遵守し、適切な運営ができている。学生には入国時に、学生本人が理解できる言語で留学生活に係る法律・規則の説明を実施。教室にも同様の内容を掲示し周知している。また、月に1度、法律や規則を確認する時間を設けている。個人情報はシステムのデータ管理をメインとし、紙媒体の書類については、規定に基づき管理している。自己評価はホームページに掲載し公開している。

10. 地域貢献・社会貢献

10.1 学校施設の活用や社会・地域貢献を行っているか。

10.2 他の教育機関、企業、団体及び地域との連携、交流を図っているか。

中村警察署の協力のもと、学生へ交通マナーや犯罪防止の講習を実施。近隣住民にも迷惑をかけないよう、騒音を立てない、ゴミを捨てない、道を占領して歩かない等の指導を徹底している。名古屋市内の高校や大学等の教育機関からインターンシップの受け入れを実施。幅広い年齢や国籍方と多文化理解を図る取り組みを行っている。